

入間東部地区消防組合 当初予算概要

歳入の主な財源は、三芳町、富士見市、ふじみ野市の負担金が全体の97.3%を占め、歳出の主なものは、消防費が全体の87.7%を占めています。
主な事業は消防ポンプ自動車および高規格救急自動車の購入、消防団車庫建設などとなっています。

《歳入》3,222,795千円

費目	収入額
分担金及び負担金	3,136,706千円
組合債	69,000千円
繰越金	10,900千円
その他	6,189千円

構成市町村別内訳

各市・町	負担金
三芳町	585,729千円
富士見市	1,144,430千円
ふじみ野市	1,406,547千円

《歳出》3,222,795千円

費目	執行額
消防費	2,826,826千円
公債費	387,703千円
議会費	4,609千円
その他	3,657千円

構成市町村別内訳

各市町消防団の運営費	
三芳町	消防団費 23,703千円
富士見市	消防団費 83,181千円
ふじみ野市	消防団費 35,092千円



活動報告

第37回園児消防見学会



5月21日に東消防署・22日は西消防署で開催しました。三芳町・富士見市・ふじみ野市の幼稚園や保育園等の園児を対象に幼年期における防火教育の一環として例年を上回る多くの園児の参加がありました。

消防救助技術指導会



5月14日に富士見市の消防訓練場で開催されました。本会は救助技術の向上を図り、正確性とタイムを競います。当消防組合からは、5種目34人の隊員が埼玉県消防救助技術指導会への進出を決めました。

平成26年度「防火標語」を募集します - 火災予防の喚起と防火意識の普及のために -

- 募集内容** 「住宅防火に関すること」をテーマとした標語
- 応募資格** 三芳町・富士見市・ふじみ野市に在住または勤務している人
- 応募期間** 平成26年7月1日(火)～8月31日(日)必着
- 入賞** 最優秀賞1点、優秀賞2点
- 応募方法** 標語を記入のうえ、郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・年齢・性別・電話番号を明記し応募。
①郵送②応募箱へ投函(消防署・分署に備え付け)③Eメール④FAX

応募・問い合わせ 〒356-0058 富士見市大井中央1-1-19 入間東部地区消防組合消防本部 予防課
TEL 261-6007 (直通) FAX 261-4395 メール: yobo-01@irumatohtbu119.jp

みんなの消防

入間東部地区消防組合(三芳町・富士見市・ふじみ野市)
〒356-0058 富士見市大井中央1-1-19 ☎261-6000(代) ☎261-4395
http://www.irumatohtbu119.jp/ ☎: shobo@irumatohtbu119.jp(代)
火災の問い合わせ ☎049(263)0119 (音声案内)
救急病院のご案内 ☎049(261)6031 (休日・夜間)
※4月1日から防災館が月曜日も開館することになりました。開館時間は9:00から16:30まで。



第8代消防長
長堀 博昭

消防長就任あいさつ

4月1日から入間東部地区消防組合消防本部消防長に就任いたしました。これまで当組合の発展にご尽力いただいた先人の方々に心から敬意と感謝を申し上げます。また、その職責の重大さに身の引き締まる思いです。さて近年の管内における災害は救急件数の増加と複雑多様化する傾向にあり、この対応強化を図るため、職員281人が一致団結すると共に一層の努力を積み重ねて参ります。住民の皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

新消防職員・団員の状況

消防職員(市町村等の消防本部に勤務する地方公務員)

平成26年度は22人が新消防人として誕生しました。新人職員は、「埼玉県消防学校初任教育課程」に入校し約6か月間、消防全般の基礎教育を受けます。

高等学校卒業者	専門学校卒業者	大学卒業者
4人	8人(女性2人)	10人(女性1人)

消防団員(別の職業をもち、災害時には駆けつける非常勤の特別職地方公務員)

近年は消防団員のサラリーマン化等で人数の確保が困難な状況が続いています。しかし、26年度は総勢32人が「わが市・町を守るため!」新たに入団しました。新入団員は新入団員研修等の教育訓練を受けて地域の住民の安全確保に努めます。

構成市・町	定数	新規入団員	現在員数
三芳町消防団	88人	4人	85人(女性6人)
富士見市消防団	129人	11人	100人(女性3人)
ふじみ野市消防団	135人	17人	104人(女性5人)

町のキラリ ★ 町長の事業所訪問 第7回「イムス三芳総合病院」

町内には、まだまだ知られていない「キラリ」と光る事業所が多く存在します。
そんな事業所を町長自ら訪問して、事業所の概要や今後の展望等を聞き、それを住民に紹介する「町のキラリ★町長の事業所訪問」を4月28日(月)に実施しました。



問 観光産業課商工観光担当(内線214・215)

第7回目は、4月28日(月)に藤久保にある「イムス三芳総合病院」を訪問しました。当日は、石田院長をはじめ、スタッフの皆さんからお話を伺いました。
イムス三芳総合病院は、長年にわたり地域医療の拠点として活躍され、平成25年3月に三芳庁舎の近くに新築移転し、高度な医療システムや医療機器の整備を兼ね備えた総合病院です。
イムス三芳総合病院は、昭和52年に「三芳厚生病院」として発足し、平成19年に病院名を「イムス三芳総合病院」に変更後、平成25年には、患者様が前向き

な気持ちで病魔に打ち勝つという快活な急性期医療施設を提供したいというコンセプトに基づいた新病院に移転し、現在にいたっています。
「愛し愛される病院」を理念とし、地域の急性期医療に合った最新の医療機器を充実させ、質の高い医療と満足できる医療サービスをめざしていることには、地域における命の誓として大いに期待します。
また、退院後も安心して生活していけるように、地域との医療連携体制にも尽力しており、行政機関との連携はもろろんの

こと、公開医療講座を開催するなど、地域交流を通して健康増進をはかる取り組みも実施されています。講座は、体や病気に関するものから、健康体操まで幅広く実施されています。
新しく生まれ変わったイムス三芳総合病院では、院長をはじめとするスタッフの皆さんが常に発展を考えながら職務にあたり、今後は、今後の展望なども、数多く伺うことができました。
町の基幹病院の担い手として、ますますの発展をご祈念申し上げます。



イムス三芳総合病院は、患者様を癒しの空間へとお迎えできるよう様々な配慮をしています。さらに、最新の医療機器も充実させています。これからも質の高い医療、患者様が満足できる医療サービスを提供できるよう努力していきたいと思っています。

イムス三芳総合病院
石田 規雄 院長

イムス三芳総合病院



名称 医療法人社団 明芳会 イムス三芳総合病院
住所 〒354-0041 三芳町藤久保974-3 ☎258-2323
沿革 昭和52年(1977年)5月20日に「三芳厚生病院」として発足。その後、平成19年11月に名称を「イムス三芳総合病院」に変更。平成25年3月現在の場所へ移転。24時間365日体制の救急センターを備え、緊急時に迅速な処置ができる体制を整えています。地域医療の拠点として、質の高い医療とサービスを提供しています。

火事防ごう あなたの思い 見せる時(入間東部地区消防組合 防火標語) もういいかい 火を消すまでは まだだよ(全国統一防火標語)